

イーハトーブ短歌の風

岩手日報 2021. 11. 14

辛辰

2021年(令和3年)11月14日(日曜日)

地域 (18)

イーハトーブ短歌の風

県内高校生の作品から 吉田史子選

公園や街路樹の紅葉は今が
見頃、今年の秋の贈り物を自ら
に焼き付けておこう。

1 首目、佐山さんが寒さ
に身をすくめる姿が見えるよ
うだ。「冬一番」は春一番に
比べるとあまり聞かない言
葉だが、その冬初めての寒波
のこと。冬一番の寒さが訪
れ、俺の耳朶が凍りつく一歩
手前だけと家まではまだま
だ遠い。おっ、希望が見えた
ぞ。あそこに明るく輝いてい
る自販機の温かい森永ココア
が俺を救ってくれる。作者は
寒さをただ嘆くのではなくユ
ーモアたっぷり詠んだ。各
句がボキボキと分かれるのだ
が、寒さに震えて声かスムー



聴覚と視覚を全開に

ズに出ないようすにびった
り。

2 首目、高橋さんがよい観
察眼を持っているのか、恋す
考え続けていたのだろうか。す

3 首目、小田島さんは「耳
で短歌を作ろうと通学の途中
や授業中、家に帰ってからも
考え続けていたのだろうか。す

題「耳」

第74回 雫石

冬一番耳朶凍る一歩手前希望が見えたモリナガコ コア	3年 佐山 拓海
木枯らしが寒いとぼやく君の耳もみじと同じ赤に 染まって	3年 高橋 藍梨
水の音炎の首に風の音聞こえてきます耳をすませ ば	2年 小田島 真人

人はついつい相手に見入っ
てしまうのか、作者のまなざ
しが印象的な作品。耳が赤く
なるのは緊張感や相手への好
意からくるのだという。君の
耳が赤く染まっているのは寒
さのせい？それとも…。作者
は余計なことは何も言わな
い。ただ聴覚、視覚を全開に
して君の隣にいる。すてきな
恋の入り口に立っている。

イヤホンで音楽を聴き本
を読むこれが理想の僕の休日
・3年上川原岳 〈会いたい
という彼の声こたます赤く
染まりし私の耳朶・3年小林
海愛〉〈さわざわと朝の混み
合った一番電車を巻いて静寂求
め・3年千葉耀斗〉〈波の首
耳に届いたその時に暑さ忘れ
る夏のひととき・3年中野妃
菜〉〈愛猫とふれあいたくて
名前呼ぶ耳だけ反応ため息の
暮れ・3年村田美月〉54首も
の投稿ありがとう。
(県歌人クラブ副会長)

高校生の短歌作品と題をイ
メージした写真を紹介しま
す。
(次回は大船渡で、25日か26
日に掲載します)